

科 目 名		学年	
情報処理VI : Information ProcessingVI		5C	
教 員 名 藤本 勉 : FUJIMOTO Tsutomu			
単 位	授 業 時 間	科 目 区 分	授 業 形 態
1	100分×15回	必修	演習・後期
学 修 単 位			
○			
授 業 概 要			
4年生で習得した入門知識を基礎にして、実用的なプログラム入門を学ぶ。データのソート、ファイルの処理、簡単な成績処理システムの製作などを通して実用的なプログラムとはどのようなものかを学ぶ。また、データ構造や再帰プログラミングなどの高度な技法も習得する。			
到 達 目 標		評 価 方 法	
1. データのソートと構造体の概念を習得する。 2. 小さいシステムの製作 3. 高学年にふさわしい報告書が書けること。		評価方法は、①中間試験(35%)、②期末試験(35%)、③レポート(20%)および④自学自習によるレポート(10%)によって評価する。	
学 習 ・ 教 育 目 標		(B)①	JABEE基準1(1)
			(c)
授 業 計 画	回	項 目	内 容
	第1	ポイントの復習	ポイントの復習をする。
	第2	構造体	構造体の基礎を学ぶ。
	第3	線形リスト1	構造体を使用して線形リストの学習をする。
	第4	線形リスト2	構造体を使用して線形リストの学習をする。
	第5	線形リスト3	構造体を使用して線形リストの学習をする。
	第6	演習3-1	線形リストの挿入、削除の基本を学習する。
	第7	演習3-2	線形リストの挿入、削除の基本を学習する。
	第8	演習3-3	線形リストの挿入、削除の基本を学習する。
	第9	データのソートと検索1	線形リストを利用した検索を行う。
	第10	データのソートと検索2	ソートアルゴリズムを数種類学ぶ。
	第11	データのソートと検索3	ソートアルゴリズムを数種類学ぶ。
	第12	演習4-1	検索とソートプログラムの実際を学ぶ。
	第13	演習4-2	検索とソートプログラムの実際を学ぶ。
	第14	演習4-3	検索とソートプログラムの実際を学ぶ。
第15	まとめ	情報処理全体のまとめを行う。	
自学自習の内容		課題として演習問題を示す。レポート課題を課す。	
関連科目	情報処理Ⅰ、情報処理Ⅱ、情報処理Ⅲ、情報処理Ⅳ、情報処理Ⅴ		
教科書	〇言語によるプログラミング基礎編(内田智史:オーム社)		
参考書	〇言語によるプログラミング応用編(内田智史:オーム社)		
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。		
副担当教員	高田陽一		
備考			